

バイデン大統領が食べたのはこの味！

**ダブルチョコ**

濃厚なチョコジェラートに、砕いて入れたチョコのバリバリとした食感が楽しい

**ミルク**

フレッシュなミルク本来のおいしさをそのまま味わえる。Natu-Linoジェラートの真骨頂

**抹茶**

日本が誇るお茶、抹茶の深い香り。ほんのり甘さも感じられて、子どもから大人まで人気の味



日米首脳夕食会で供されたのは、定番の3種類。すべてを楽しめるトリプル600円が人気だ。注文時は「大統領トリプル」で通じる。シングルは440円、ダブルは520円

店内に掲示された生産者の写真。とれたばかりの素材を届けてくれたり、「こういうものがあるんだけど、どう」と提案してくれたり。生産者との信頼関係の中で、毎月新しいフレーバーが生まれている

「生乳一つをとっても、命や自然からいただくもの。この素材はどこで誰にどう育てられたのか。それぞれのストーリーを心に留め、大切に使うことをスタッフ教育では重視しています」と、相原さん。素材を余すことなく活用し、こぼして無駄にしないように丁寧な扱おうとスタッフの仕事ぶりを見て、最後の一口まで感謝して味わいたいと思った。暑さで溶けるのが早い夏は、スピード勝負だけれど。

大統領効果で、報道直後の週末に



Natu-Lino 店長 相原友美さん  
名取市出身・在住。地域や生産者とのつながりを大切にする理念に共感して入社。お気に入りフレーバーはミルク

information  
**Natu-Lino 名取本店**

住所 / 名取市飯野坂字南沖93-1  
TEL / 022-397-8235 定休日 / 木曜  
営業時間 / 11:00~17:00、土日祝10:00~  
WEB / <http://www.natu-lino.jp>  
Instagram / natu\_lino  
仙台本町店、ジェラートカーによる出張販売もある。各店の情報はInstagramを確認



ジェラートを通して、皆が自然と笑顔になれる場所でありたいという思いから、店名をNatu-Linoに。自然で飾り気がないを表すNaturalと、ハワイ語で光り輝くを意味するLinoを合わせた造語だ。名取の地名も語源にしている、地域愛を感じる



ン氏はアイスクリームが大好物らしい。従業員一同大変うれしく思っています。当時は店ができる前で、私自身はまだ学生でしたが、バイデン副大統領が被災地を回られたことは、ニュースで拝見して覚えていました」と、相原さんは目を輝かせる。

運営会社の岡南商事は、仙台空港の近くでアイスクリーム問屋業を営んでいたが、津波で社屋と倉庫、4人の従業員を失った。自社だけではなく、故郷が甚大な被害を受け、人々が悲しむ姿を見た代表の鈴木知浩さん

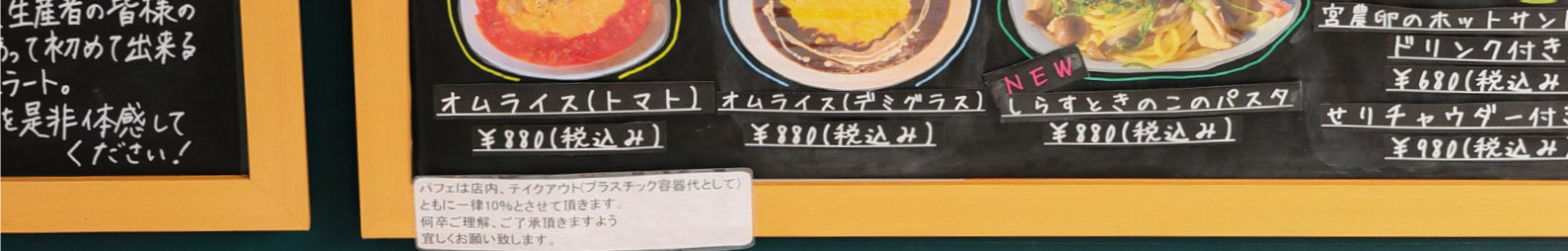
そんな経緯があつて震災後に生まれた同店の製品が、被災地に心を寄せる異国の大統領へ送られたのは感慨深い。メイドイン東北のジェラートが、大切なおもてなしの席で笑顔をもたらしてくれたはず。

**生産者の愛情が詰まった東北の恵みをジェラートに**

巨理町産のイチゴや名取市産のメロンなど、地元生産者から直接仕入れた季節のフルーツで作るフレーバーは、まるでフルーツそのものを食べているように、フレッシュでみずみずしい。

ペースとなる生乳は、早朝にスタップが名取市から車を約40分走らせ、色麻町まで取りに行く。提携の小松牧場では、搾乳をせず母牛が自ら出す乳だけを採集。母牛のストレスが少なく、子牛にあげるような生乳だから、同店のジェラートはやさしい味がする。とれたての生乳は、その日のうちにジェラートに。鮮度の高さもこだわりだ。

「生乳一つをとっても、命や自然からいただくもの。この素材はどこで誰にどう育てられたのか。それぞれのストーリーを心に留め、大切に使うことをスタッフ教育では重視しています」と、相原さん。素材を余すことなく活用し、こぼして無駄にしないように丁寧な扱おうとスタッフの仕事ぶりを見て、最後の一口まで感謝して味わいたいと思った。暑さで溶けるのが早い夏は、スピード勝負だけれど。



常時18種類が並ぶカラフルなショーケースは、見るだけで元気になれる。旬の素材を使用するため、訪れるたびにラインナップが変わるのも魅力。ジェラート以外のメニューは休止中の場合もある

**巻頭特集 思わず笑顔がこぼれるNatu-Linoのジェラート**  
**国産をもてなしたメイドイン東北の味**

「バイデン大統領が食したジェラート」で二躍話題になった、名取市のNatu-Lino。地域を沸かせたホットなニュースの真相から、暑さや和らぐおいしいジェラートの秘密まで。7月で7周年を迎えた同店を取材した。

**トモダチ作戦の恩返し 被災地から涼おもてなし**

「5月24日は朝から電話が鳴りっぱなしで、一日中メディアの取材が殺到。スタッフ皆で驚きながら対応に追われていました」と振り返るのは、名取市にあるジェラテリア、Natu-Linoの店長、相原友美さん。

その前夜、東京の八芳園では、岸田文雄内閣総理大臣が、アメリカのジョー・バイデン大統領を招いて夕食会を開催。その品書きが公開され、「宮城県名取市から届いたジェラート」が振る舞われたと報道された。名取のジェラートといえば、真っ先に名前が上がったのは、そう、地元の人気店Natu-Linoだ。

「確かに、10日ほど前に外務省の方から電話で依頼を受け、八芳園にジェラートを発送しました。海外からお客さまがいらっしやると聞いていましたが、まさか大統領だったとは。報道で初めて知りました」と、相原さんは話す。

バイデン氏は、名取市をはじめ、宮城県にゆかりのある人物。東日本大震災発生時、翌日から1カ月半にわたって、アメリカ軍が被災地で行った人道支援・救助活動は「トモダチ作戦」として知られている。その直後の2011年8月、バイデン氏は副大統領として名取市を訪問。津波被災地や仮設住宅を訪れ、被災者を激励した。

それが縁で、先日の夕食会のデザートに、名取市から同店のジェラートが選ばれた。なんでも、バイデ